

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	15012	授業形態	
担当教員	川合 宏之		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
全学
学部
商学部・経済学部・人間社会学部
学科
経営学科・マーケティング学科

演習名
川合宏之ゼミナール(教育学・キャリア教育)

概要説明
<p>ゼミ全体の活動</p> <p>本演習は、「なすことによって学ぶ」こと、つまり実践活動を重視しています。実際に学校教育現場で教育的活動の補助、具体的には子どもの遊びや学習の支援活動を行います。私の研究フィールドである高校だけでなく、小学校や中学校、地域など学外の様々な機関との連携により、児童生徒の集团的活動の企画や運営、活動に参画することで、子どもをより深く理解し、他者と連携協力して関わることのできる資質を養っていきます。</p> <p>平成29年に告示された新学習指導要領では、学校は「地域の中の学校であること」、つまり学校と地域社会との連携をより強調しています。実践活動を通して地域社会とのコミュニケーション力や企画力、創造力を養うことの意義を学んでほしいと思っています。</p> <p>学年ごとの活動</p> <p>「研究演習」では、実践活動をベースに、自分の考えを表現する、他者のさまざまな考えに触れ、共有するといった活動を展開します。</p> <p>「研究演習」は、実践活動をベースに、自分なりのテーマをもって、研究を深めます。文献購読によって、議論や研究のための学習をすするとともに、個人研究のテーマをしばり卒業研究につなげます。</p> <p>「卒業研究」は、これまでの学びの集大成として、卒業論文の執筆に取り組みます。就職活動も含めて、個別指導を重視します。</p>

学位
教職修士(専門職)

教員よりの要望
<p>本演習は実践活動を重視しているため、以下のことを学生に求めています。</p> <p>企画を学生自ら立案・実行し、またそうした活動を他者に向けて情報発信できること。</p> <p>活動を進める場合は、ほとんどがグループでの協働作業となるため協調性を大切にできること。</p> <p>ゼミの時間以外で活動に費やす時間も多いため、意欲的・積極的に取り組めること。</p>

教員英字氏名
Hirovuki Kawai
研究室
3405研究室(研究棟 4階)
最終学歴
兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教育実践高度化専攻(専門職学位課程)
主な研究活動・社会活動・研究業績

<p>教員プロフィールを参照してください。</p> <p>http://www.umds.ac.jp/profile/pages/kawai.html</p>
--

主な卒業論文のタイトル
2019年度から担当するため、卒業生はまだいません。

趣味・特技
テニス、映画鑑賞、資格取得

所属
商学部経営学科

所属学会
日本商業教育学会、経済教育学会、日本キャリア教育学会、秘書サービス接遇教育学会

専門分野
高等学校商業教育、職業教育 キャリア教育、高大接続・連携

選考方法
面接、演習申込書、成績(単位取得状況)などによって、総合的に判断します。

担当科目
商業科教育法、生徒・進路指導論、職業指導、ビジネス文書実務、研究演習、研究演習、自己発見とキャリア開発A、自己発見とキャリア開発B

備考

評価方法
出席はもちろん、ゼミへの取り組みの態度や成果、貢献度などによって総合的に評価します。

実務経験の有無及び活用
<p>実務経験あり</p> <p>高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践をしてきた。それらの知見や経験を生かし、高校や地域など学外の様々な機関との連携により、アクティブ・ラーニングを取り入れたゼミ運営を行っている。</p>